

化石の発掘

文学部人文社会科学科古代文化学コース四回生 M.T

生物がはるか昔に存在していたことを示す化石にもともと興味があり、化石について調べているうちに発掘ができる場所があると知りました。そこで、化石の発掘のために、福島県いわき市にあるアンモナイトセンターへ行ってきました。

個人的に、化石の中でも、美しい渦巻き状の形が特徴的なアンモナイトに惹かれていました。そういうわけで、せっかく化石採集をするなら、アンモナイトが採取できる可能性がある場所にしようと思い、アンモナイトセンターを選びました。また、このセンターでは、毎週土曜日・日曜日に

体験発掘が行われており、道具の貸出しも行われているため、私のような初心者でも気軽に参加できるとも思ったからです。



体験発掘

実際の体験発掘は、化石や発掘手順に関する 30 分間の説明を聞いた後、一時間発掘するという内容でした。職員さんの説明はとても面白く分かりやすいものでした。この体験発掘には家族連れの方も多かったのですが、子供たちが化石や恐竜の話を熱心に聞いているのが印象的でした。

説明を聞き終わると、センターの外に出て、いよいよ発掘へと向かいます。館外には地層が露出した場所があり、それを見ていると、化石を掘る実感がわいてきました。そして、発掘のために必要なハンマーやタガネ、安全のためにゴーグルを受け取り、発掘が始まりました。地面にタガネをさし、タガネをハンマーで打ち、そして化石が出てこないか調べます。発掘はその繰り返しでした。

みんな必死になってハンマーを振って、化石を探しています。あちこちで「化石が出た！」という声があがる中、発掘が初めての私には化石を見つけることがどうも難しく、なかなか見つかりませんでした。時間も半分過ぎ、焦っていたら、やっとの思いで貝の化石を見つけ

ることができました。今まで、博物館で見るだけだった化石を、自分の手で採集できたのは本当に嬉しいことでした。その後に、また貝の化石を見つけました。体験が終わった後に、職員さんにお話を伺うと、ほとんど全部があるものがマイティアで、状態が悪く一部分のみ残っているものは示準化石でもあるイノセラムスとのことでした。



マイティアの化石



イノセラムスの化石

発掘を終えて

発掘は単純な作業の繰り返しですが、全く経験がなかったのでハンマーとタガネを使うことさえあまり上手くできませんでした。そういった技術的な面も大事ですが、発掘するポイントをうまく見つけることも発掘には重要だと感じました。

今回採集できた化石は、貝の化石 2 つのみで、結局アンモナイトを取ることはできませんでした。アンモナイトが難しいなら、せめてサメの歯だけでも取りたいと思いましたが、それもなかなか厳しく不可能でした。しかし、今まで取れるとも思っていなかった化石を、自分の手で採集することができたのは、非常に良い経験となりました。発掘は、作業そのものが単純に楽しく、実際に何か掘り当てることができればさらに意欲がわき、また採集に出かけたくなるような、そんな魅力あるものでした。